

2021年度 東京農工大学 工学部 化学物理工学科 主催 8月の実験教室

高校生のための化学と物理の実験教室

日時：2021年8月21日(土) 13:00-17:00**場所：東京農工大学工学部（小金井キャンパス）**

自分の手を動かしながら、物理や化学が身近な現象や先端技術とどのように関わっているかを学べます！
SAIL 入試（総合型選抜）の題材にも利用できます。希望者にはレポート作成指導も行います。

参加を希望する方は Google フォームにて 2021年7月30日（金）までにお申し込みください（詳細は別頁）

*SAIL 入試の受験を予定、もしくは、検討している受験生の方は、必ずその旨を記載してください。

対象： 大学受験を考えている高校3年生・予備校生のみなさん

開催情報は化学物理工学科ホームページ(<http://tuat-chemphys.net/>)にも掲載しています。新型コロナウイルスの感染状況によっては中止、もしくは、プログラムの一部を変更する可能性があります。ホームページ等でお知らせします。



化学物理工学科ホームページ QR コード

13:00-13:15 受付・化学物理工学科（教育、研究、入試）」の紹介

13:30-16:00 実験

16:00-17:00 レポート作成指導（希望者のみ）

以下の中から1テーマを希望し、教員や大学院生の指導のもと実験が行えます。

募集定員：各テーマ3名

実験番号	タイトル	講師
実験 1	ビー玉スターリングエンジンをつくる	畠山 温
実験 2	元気いっぱい☆栄養ドリンクの”もと”を結晶化してもろて	滝山 博志
実験 3	磁石の不思議を探る	香取 浩子
実験 4	化学電池を作りながら、究極の電池を科学する	大橋 秀伯
実験 5	液体の沸騰を観察し、蒸気圧曲線を調べる	森下 義隆
実験 6	化学反応を伴う液体の流れを見る	長津 雄一郎
実験 7	直流モーターをつくる	室尾 和之
実験 8	立体写真を撮影する	宮地 悟代
実験 9	マイクロ液滴を作る、ひずませる、観察する	稲澤 晋
実験 10	粉体の連続操作。粒子を流動化する。	伏見 千尋
実験 11	匂いを可視化して見分ける	清水 大雅

2021年度 東京農工大学 工学部 化学物理工学科 主催 8月の実験教室

- 交通 JR 中央線 東小金井駅 nonowa 口より徒歩8分
■会場 東京農工大学 小金井キャンパス ガイダンス：新1号館グリーンホール(16の建物)
実験室： 4号館オープンラボ、他各研究室



参加申込用 Google フォームの QR コード

【申込方法】 参加の申込は上記 Google フォームからお願いします。不明な点がございましたら、下記連絡先の電子メールまたはFAX でお願ひ致します。申込まいただいた方には、受領のメールをお送りいたします。返事が来ない場合は、お問い合わせください。申込に際しては以下のことをお教ひください（頂いた個人情報は学科広報活動以外には使用いたしません）。

- ① 氏名（ふりがなもつけてください）
- ② 学校名と学年
- ③ 連絡先電話番号またはメールアドレス（メールアドレスを持っていない場合は連絡が取れる学校の先生のメールアドレスを記載いただいても結構です）
- ④ 実験教室で希望する研究室（第1、第2、第3希望を書いてください）
- ⑤ SAIL 入試の受験を予定、もしくは、検討している方は、必ずその旨を記載してください。

*実験室の面積を考慮し 1 テーマあたりの参加人数を決め、新型コロナウイルスへの感染対策を取った上で開催します。

*当日は気温が高くなることも予想されます。十分な暑さ対策をとってご来場ください。

*応募人数によっては、希望以外の実験テーマになることやお断りすることもあります。ご了承ください。

連絡先：東京農工大学 工学部 化学物理工学科 事務室

TEL：042-388-7071（直通） FAX：042-388-7693 電子メール：cmci@cc.tuat.ac.jp

化学物理工学科（2019年度開設の新学科）の紹介

化学と物理をベースに持続可能な社会を実現する技術者の養成

【教育目標】 エネルギー・環境等の地球規模の課題を解決し、新産業を創出する課題解決力を身につけるには、化学と物理の総合的理解が必要です。本学科では、総合的理解が必要な課題、例えば「新素材を用いた高効率・低環境負荷のエネルギー変換デバイスの開発」など、社会的ニーズが高い課題に挑戦する高度グローバルエンジニアを育成します。

【学科の特徴】 1年次には数学、化学、物理などの基礎科目を中心に学びます。2年次後期からは「化学工学」と「物理工学」の2コースに分かれ、専門科目を学びアイデンティティを確立します。「エネルギー」「新素材」「環境」の3つの科目群が用意され、プロジェクト演習、研究室配属により課題解決力を身につけダイバシティを養います。